

神戸紘武杖道会（せいぶ館）稽古会の報告

常松 美都子

4月29日、30日、神戸に松村館長をお迎えしての稽古会がありました。今年は何かと雨の多い春でしたが、両日共、気持ちの良い晴天に恵まれました。

29日の午前、館長、レニエさん、シャンタールさん、楠崎さんと、せいぶ館の古流組の面々で古流の稽古をしました。隣の方で難しい事をされていましたが、私はとりあえず表の杖をひたすら。館長は相変わらず目の鞆の外れた方で、向こうで怒鳴っていたかと思えば、もうこちらの指摘をされます。お陰で、ほぼ満遍なく指導頂いたと思います。「笠の下」の立ち位置が何となく分かった気がしました。そのまま続けて何本か稽古したかったのですが、あれよあれよという間に「一礼」・「寝屋の内」まで進んでしまって、頭の中が大混乱です。一本ずつ咀嚼する時間が欲しいです。今後の稽古で頑張りますが。

午後はせいぶ館のメンバーが全員揃って、制定型の稽古をしました。未だに基本の姿勢で注意をされます。杖を引いた時に胸を開いていると思っているのですが、まだ不十分なようで、言われてみると引かかるような、引かからないような。気にし出すと全て変な様な気がして進まなくなり、結局は適当に誤摩化して続けるのですが、たまにじっくり自分の姿勢を見直す事も必要ですね。

夜は灘屋さんで宴会です。ビールと日本酒が美味しかったです。神戸牛も頂きました。食べたい方は、是非、神戸の稽古にいらして下さい。

30日は、楠崎さんはいらっしゃいませんでしたが、新たにブレズさんと永井さんが稽古に参加して下さいました。神道流剣術の稽古をしましたが、小畑先生以外は皆、初めてです。更に私は、まだ古流の太刀に入っていないので、だいぶ怪しかったと思います。見よう見まねでやりましたが、実際に自分の姿が見えないので、ちゃんと真似出来ているかは分かりません。これも今後の課題です。一気に八本詰め込まれたので、前日以上に混乱しました。八本目を終わる頃には一本目を忘れていたので、もう一度最初からと言われても動けずに何度も斬られました。考えずに動けるようになりたいです。

稽古が終わり、古流の入門式をさせて頂きました。今までは「お試し期間」という事で古流の稽古も齧らせて頂いていましたが、いよいよ以て本格的に入門です。少し身の引き締まる想いです。難しく中々覚えられないのですが、皆さんの技を盗みつつ、頑張っ続けて行きたいと思います。